

Ⅱ 拠点館事業

令和2年度 市直営事業実績

1 地域づくり支援

市民自ら地域課題に向き合い、住み良いまちづくりにともに取り組むことができるよう、地域の身近な社会教育施設として、多様な学習の機会を創出するとともに、市民の主体的な学びを支援し、学びを通じた人づくりに取り組んでいる。

(1) 若者社会参画型学習推進事業

若者が地域づくり活動への参加や様々な人々との学び合いを通じて、身近な地域をより良くすることへの意識を高め、自発的・主体的に活動することを学ぶ事業である。

平成 22 年度から 24 年度は「若者によるまちづくり実践塾」という事業名で各区中央市民センター等において実施した。平成 25 年度からは、事業名を変更して各区中央市民センターで実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	10	40	43	高校生・短大生・大学生
宮城野区	16	163	(実施せず)	高校生
若林区	30	41	243	大学生・社会人等
太白区	9	64	(実施せず)	大学生
泉区	11	62	6	大学生・専門学校生

① 若者によるまちづくり実践塾

＜青葉区中央市民センター＞

若者自身が地域課題を発見し、その調査・整理・分析を行い、自分たちの取組を発信することで、「若者がまちづくりに関わっていく」という事業のねらいを達成することができるように取り組んできた。活動の発展性を見据えると共に、新たな視点を探りながら、令和元年度に引き続き「多文化共生」をテーマに設定して事業を展開することにした。

しかしながら、コロナ禍により外国人の参加が難しい状況にあり、年度当初に予定していた活動ができなくなったため、参加者自らが事業のねらい等を再度設定し、方向転換を図った。

令和 2 年度は、若者の視点で青葉区の魅力を再発見することを目的に、全 6 回（大崎八幡宮近辺 1 回・川内近辺 3 回・青葉区中央市民センター近辺 1 回・宮城西部地区 1 回）のフィールドワークを行い、それらを動画にまとめて YouTube の仙台市市民センターチャンネルで発信した。参加者にとって新たな視点や気づきが生まれ、主体的に事業に取り組むことができた。

取材活動を繰り返し実施したことで、参加者は対話を通して取材対象への考えを深めたり、視野を広く持って考えを巡らせたりすることができ、事業全体を通して他者理解力及び発信力を向上することができた。

② まいぷろ・Miyagino for Young PROgram

＜宮城野区中央市民センター＞

令和2年度は、震災から10年を迎える「沿岸部のいま」を取材し、ウェブ記事や動画の制作・発表を通じて、①様々な人々と協働し、身近な地域をより良くすることへの関心を高めること、②社会・地域の一員として、自発的・主体的に行動できる人づくりを行うことを目標に取り組んだ。

若者が興味・関心を持った太平洋フェリー仙台営業所や麒麟ビール仙台工場、南蒲生浄化センター、日和山において取材し、仙台市市民活動サポートセンターや住民参加型ニュースサイト「TOHOKU360」等と連携し、4つのウェブ記事を作成した。活動を通して、主体的に行動する大切さを学ぶと同時に、自らの新たなつながりを生むきっかけとなった。

制作過程では、読者に分かりやすく伝えるよう工夫したり、「人の思い」を強調して取り上げたりした。記事を作成する技量の向上とともに、完成度の高いものにしたいという思いが次第に強くなり、そのことが成果物の出来栄にも表れた。また、活動を通じて、参加者の将来への進路への考えも広がった。

③ 仙白園プロジェクト・人

＜若林区中央市民センター＞

大学生を中心とした概ね20代の受講者が、地域のために何ができるかを考えながら、地域交流イベントを活性化させる活動を行っている。

仙白園と名付けた畑（若林区中央市民センターが仙台白菜を誕生させた実験農場である養種園の跡地に立地することに由来）での野菜作りを活動のベースにしながら、年間を通して様々なイベントに取り組む本事業であるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行のため、例年実施してきた収穫祭などで飲食を伴う地域交流は行うことができなかった。一方で、東日本大震災から10年の節目の年であったことから、受講者はオンラインでの打ち合わせを重ね、いわゆるご当地サイダーとして「仙台・絆サイダー」を製造し、その頒布によって募った寄付金を六郷東部地区の追悼行事「鎮魂の花火」の打ち上げ費用として寄付する取組みを行った。また、活動の広報のため、ショッピングビルでのブースの出店、ラジオ番組への出演、「仙台防災未来フォーラム」への参加など、幅広い活動を展開することができた。

④ 仙台学生ネットワーク事業「つながりんぐ」

＜太白区中央市民センター＞

地域や地区市民センターから「学生と連絡を取りたいがどうしたらいいかわからない」、また、学生からは「社会貢献したいが窓口がわからない」等の意見を受けて、本事業を平成26年に立ち上げ、活動する学生のネットワークを「つながりんぐ」と名付けて活動をスタートした。

令和2年度は「つながりんぐ」としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、学生が所属する大学で、サークル活動等の対外的活動の自粛を要請されるなど、

参画団体による活動計画の立案や、協働による活動を行うことはできなかった。また、多くの団体と連携し好評を得ている長町地域のイベント「ながまち交流フェスタ」も中止となり、例年「つながりんぐ」参画団体が企画運営している「おぼけやしき」も実施できなくなるなど、団体同士の顔の見えるつながりづくりは十分な成果を得るには至らなかった。

そのような中、「つながりんぐ」の中心となって活動していた東北工業大学環境サークル「たんぽぽ」の学生から、新型コロナ禍でも社会貢献活動に取り組みたいとの前向きな提案を受けたことから、当該サークルに対する個別の活動支援を行うこととし、長町地域内で子ども食堂を展開するNPO法人とのマッチングを行い、相互の良好な関係を築くなど、次年度に向けて太白区内における地域活動等の見通しを持つことができた。

⑤ ICP Izumi Community Project

＜泉区中央市民センター＞

泉区内に通学している大学生を中心とした受講生が地域の現状や課題について考え、学生の自由な発想で地域創造に向けて取り組みたいことを企画し、実施する事業を行った。

令和2年度は、受講生数11人（延べ62人）、事業実施回数15回、イベント参加者数6人。新型コロナウイルス感染症対策のため、7月から10月にかけては月に1度オンライン会議システムで参加者増員に向けたミーティングを持った。11月からは、対面で8回定例会を行い、大学生対象の地域づくり講座を2月に実施することを決定し、その準備に努めた。12月には講座開催地の調査や市民センター館長から講話をいただいた。2月に講座を実施し、地域づくりに携わる方々を招いて学習会を行った。3月には次年度のチラシを作成した。

社会的波及効果としては、東北学院大学や仙台白百合女子大学等、大学生にPRする機会でも、本活動について大学生の理解を得ることができた。また、地域づくりに関わろうとしている大学生がいることを多くの方々に伝えることができた。

本事業に関わることで、すべての参加者が自分自身の成長を感じている。中でも、参加することで地域に積極的に関わる楽しさを感じるようになったこと、人とのコミュニケーションの中には多くの学びがあること、チームの中で自分の役割を考え誠実に取り組むようになったことが、記入を重ねた質問紙から読み取ることができる。地区館の事業に積極的に関わる参加者も出てきている。

参加者一人一人が、自分自身の変化を感じるだけでなく、地域づくりに携わりながら生きていくその姿勢の大切さを確認した1年間だった。また、制限が多くかかる中で、どのような対策をとれば活動できるか、どんな工夫をすれば周りの理解が得られるかなどの学びを得ることができた。

⑥ 「若者社会参画型学習推進事業」にかかる支援

＜生涯学習支援センター＞

（ア）アイデア会議

（R2.12.11（金）15:50～17:40 参加者：大学生30名 各区中央市民センター担当者等4名）

今後の事業展開の参考とするために、尚絅学院大学で「地域活動論実習」を受講して

いる学生とともに、これまでの取組みをもとに、事業のブラッシュアップの方向性についてアイデア会議を実施した。

(2) 住民参画・問題解決型学習推進事業

各区中央市民センターのコーディネートのもと、住民と市民センターの協働により地域課題を発見し、その課題解決への取組みを学び、実践する事業である。

平成 23 年度から実施しており、地区市民センターとも共催しながら事業を展開している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	86	449	1,669	宮城西 19, 落合 14, 中山 14, 吉成 7, 折立 32
宮城野区	52	461	669	高砂 16, 田子 10, 幸町 7, 岩切 19
若林区	64	275	134	六郷 25, 団体 8, 若林 20, 沖野 11
太白区	20	26	中止	区内 9 団体
泉区	44	257	456	泉区中央 14, 根白石 10, 南光台 7, 高森 4, 松陵 4, 寺岡 3, 桂 2

① 地域元気クラブ

＜青葉区中央市民センター＞

受講生が講座を通じて得た学びやネットワークを生かして、地域の資源や人材を活用し、地域活性化のための企画を提案・実践していくことを通し、地域を元気にするノウハウについて学びを深めることができた。企画する事業への参加者が増えたり、学校をはじめとする地域の諸団体と連携する機会が増えたりするなど、地域づくりにつながるネットワークの構築が進んでいる。

【企画・実施した事業…大倉ダムの魅力発信事業「鯉のぼり×大倉ダム」(宮城西市民センター)、ふるさと落合栗生地元塾(落合市民センター)、ラララ♪歌で元気に(中山市民センター)、国見ヶ丘・吉成・南吉成地域の魅力再発見(吉成市民センター)、折立素敵物語「ライトアートin折立」(折立市民センター)】

② 地域の“絆”再生プロジェクト 「地域づくり講座」

＜宮城野区中央市民センター＞

高砂市民センター、田子市民センター、幸町市民センター、岩切市民センターと連携しながら、住民がこれまで以上に地域づくりに関心を持ち、地域の課題や将来像を共有できるようにするためのワークショップやフィールドワーク等を展開する講座を行った。

「中野ふるさと学校」(高砂市民センター)では、鶴巻小学校 4 年生と「蒲生干潟の自

然観察会と日和山登山」を行った。また、ダーツ交流会を行ったり、移動学習会で閑上山・名取市震災復興伝承館へ行ったりと、学びやつながりを深めた。また、「日和山登山」は、コロナ禍のため一般参加者を募集せず有志で行い、仙台蒲生の歴史に触れながら、一人一人が思いをもって登頂を目指した。

「田子今昔物語」（田子市民センター）では、活動範囲を広げ、旧田子村だった福田町界隈のまち歩きを行い、第二弾となるリーフレットを完成させた。地域が持つ魅力を探し出し、人と人のつながりが生まれたほか、ドローン撮影に協力してくださる方や、地域の歴史を知る方との出会いもあり、地域の新たな歴史と魅力を発見することができた。活動の様子（動画）はYouTubeの仙台市市民センターチャンネルに掲載した。

「柞江の森 魅力発信プロジェクト」（幸町市民センター）では、市民センター内で展示会を実施し、エリアを分けて魅力発信を行った。「展示エリア」では、これまでの活動や資料、企画員の詩などを展示した。「遊びエリア」では、まつぼっくりツリー作りやどんぐりゴマなどのコーナーを設け、来館者の感想も好評だった。さらに、開催に合わせて行ったクラフトワークショップは、森の豊かさやより活性化するための手段・方法を学ぶきっかけとなった。

「子どもの広場（居場所）づくりボランティア」（岩切市民センター）では、子どもの遊びや体験を支え、子どもを見守るネットワークづくりを目指している。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策をしながらできることを考え、ジュニアリーダーと連携し、魚釣りコーナーも実施した。ボランティアの方々は毎回約20名、子どもの参加状況は平均約30名だった。ボランティアのサークル化を目指して話し合いを持ち、横のネットワークづくりに向けて動き出した。

③ わたしのふるさとプロジェクト

<若林区中央市民センター>

各地区館と共催して、地域住民が課題と向き合い解決を目指す取り組みを支援した。

「わたしのふるさとプロジェクト」（六郷市民センター）では、東日本大震災以来、六郷東部地区の復興をテーマにコミュニティやにぎわいの再生に向けた活動に取り組んできた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎月の定例会を一部オンライン開催としながら話し合いを進め、東六郷小学校跡地を活用した「来てけさいん♪六郷東部夏祭り」を中止し、「ふるさとにつどう鎮魂の花火」は、交流会を中止して花火の打ち上げのみを12月6日に東六郷小学校跡地周辺で行った。イベントを中止した分、今後の活動についての意見交換や震災の被災者の声を聴く学習会を行うなど、改めて地域を見直す1年となった。

その他、絵本や紙芝居による地域貢献を目指す「読み聞かせボランティア講座」（若林市民センター）、おやじの会を中心に地域で子どもたちを育てる「お父さん出番です!」（沖野市民センター）の活動支援を予定したが、コロナ禍の影響を受けて多くのイベントの中止を余儀なくされ、次年度以降への環境整備を行うにとどまった。「ここ・そこ・どこでも六郷ふるさと音頭」（六郷市民センター）では、歌詞の由来や踊り方を解説する動画を制作し広く公開した。

④ 太白おやじネットワーク事業

＜太白区中央市民センター＞

太白区内各小中学校に在籍する児童・生徒の保護者を中心に構成する通称「おやじの会」の活動を支援することにより、若い世代の地域づくり活動への参画機会の充実と地域づくり活動の活性化を図る取り組みを進めている。

各地域においては、「転勤族が多く、横のつながりが希薄」「高齢者が多く、防災・防犯面で不安」などの地域課題の解決に向けて、意欲的に取り組んでいる「おやじの会」もあれば、活動が停滞している会もある。そこで、各地域での活動を支援しつつ、緩やかにネットワークを形成し、お互いが刺激し合い、学び合う機会の創出を目指した。

令和2年度は、太白区内のおやじの会ネットワークと、太白区中央市民センターの共催事業として毎年取り組んでいる、主に小学生を対象としたスポーツイベント「太白みんなde スポーツ」の開催を前提として、前向きな協議を進めた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で市内の夏・秋イベントが軒並み中止となっていく中で、子どもを対象とした大規模イベントの開催は困難と判断し中止とすることとなった。一方、このような中でも、次年度以降の活動の持ち方の意見交換会や情報交換会を3回企画し、うち2回を対面で実施することができ、次年度以降の活動再開に向けて、これまで築いてきたネットワークの関係を維持することができた。

⑤ 地域いきいきプロジェクト

＜泉区中央市民センター＞

区内地区館8館との共催により、区拠点館として事業の実施・運営に関する助言、事業成果の情報発信等を行い、地域特性に応じながら住民と各地区館職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動の実践を推進した。

令和2年度は、泉区中央市民センター（地区館）で、地域の歴史や文化を学び、魅力を伝える新規事業「いずみ探訪～地域案内人養成講座」が始まった。根白石市民センター「かむりの里地域いきいきプロジェクト」では、20～40代の企画員が参加し、旧村民歌の動画化・ジャズラテン風編曲など、郷土愛を未来に生かそうとする取り組みが行われている。

さらに、コロナ禍でも前向きに心穏やかな生活が送れるよう、学びの機会や交流の機会を創出するため、高森市民センター「魅力あふれる高森をめざして」では、講義形式の講座を企画したり、寺岡市民センター「今、思っていることを聞かせて！」では、地域住民同士の掲示板での意見交換を行ったりした。

また、南光台市民センター「みせましよう！おやじの力」、加茂市民センター「エンジョイ加茂ン」、松陵市民センター「みんなで創る紙芝居講座」、桂市民センター「桂のお茶会」は、前年度と同じ企画員で新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら引き続き事業を実施した。

⑥ 「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかる支援

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の担当者を対象とした研修会等を実施し、

各区の事業推進を支援した。

(ア) 方向性を確認する会①

(R2.4.14(火)15:30～17:15 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者等 18 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際し、実施計画をもとにした情報交換と、地区市民センターへの事業支援の在り方に関する検討を行うことにより、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

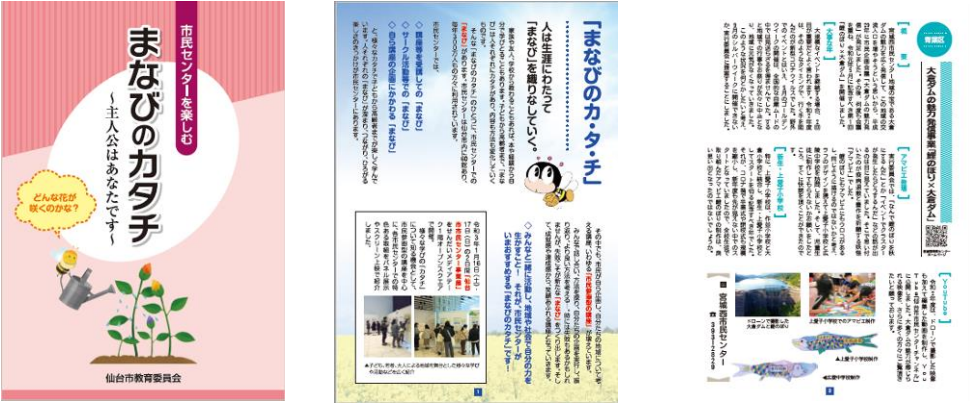
(イ) 方向性を確認する会②

(R2.7.16(木)14:30～17:15 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者等 18 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業の取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(ウ) パンフレットの発行

市民や関係機関に向け、住民参画・問題解決型学習推進事業の啓発のため、令和 3 年 3 月に発行した。1,500 部作成し、市民向けに市民センター等に配架するとともに、市内各小中学校にも配布した。



(3) 子ども参画型社会創造支援事業

小学校中学年の児童から中学校・高等学校の生徒まで、子どもたちがそれぞれに地域社会の構成員としての意識を育みながら成長していくことを目指し、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる事業である。

平成 23 年度から実施しており、各区中央市民センターを中心に、地区市民センターとも共催しながら事業展開を図っている。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	36	273	78	幼児，小・中学生，高校生
宮城野区	50	453	718	小・中学生，※大学生
若林区	26	275	(実施せず)	小・中学生
太白区	9	35	(実施せず)	小学生
泉区	8	75	36	中学生

※宮城野区の大学生はアシスタントとして参加

① 地域盛り上げ隊

＜青葉区中央市民センター＞

地区館においては、2つの市民センターで事業を実施している。

広瀬市民センターでは「カップダ川で地域交流」を実施している。広瀬地区・愛子地区・錦ヶ丘地区の交流を目的に、「カップダ川ダンス部」を立ち上げ、地域に流れる「カップダ川（千代老堀）」をテーマにしたダンスの練習に取り組んだ。コロナ禍により地域のまつり等での発表は難しかったが、ダンスをYouTubeの仙台市市民センターチャンネルで発信することで、活動の周知を図ることができた。本事業を通して、参加者自身が地域への愛着を持ち、地域のひと・もの・ことについて理解を深めるとともに、それらを尊重しようとする心情も育ってきている。受講者がボランティア活動に参加したり、ジュニアリーダーに登録したりするなど、社会参画に資する人材育成の基礎づくりが進んでいる。

青葉区中央市民センター（地区館）では、隣接する東二番丁小学校から参加者を募集し、「東二小やる気キッズ」を実施している。メンバーの興味・関心に基づき、「地域が元気になる活動」を考え、参加者自身が主体となって事業を展開している。活動を通して、参加者が様々なものの見方や考え方を学び、地域に対する思いを高めることを目指している。令和2年度は「おばけやしき&だっしゅつゲーム」を企画・運営し、異年齢間の交流や自己肯定感の向上につながっている。

また、拠点館である青葉区中央市民センターにおいては、「青陵インパクト」を実施している。小学生が地域での活動に目を向け、将来主体的に地域で活躍できる人材に育つことを目指し、仙台青陵中等教育学校の中学生・高校生のメンバーがカードゲームを制作し、活用を図った。メンバーが意見を練り合い、町内会役員の仕事を取材した経験を紙芝居や新聞にまとめたり、カードゲームのルール説明用の動画を制作したりした。本事業への参加者は、企画・制作を通して地域活動への興味・関心が高まり、意欲的にこの事業に取り組んでいる。

なお、拠点館ではこの他にも、区内の小・中学生から「あなたのまちの『すてき』を絵・川柳にしよう！」を募集し、令和2年度は絵画83点、川柳173点の作品が集まり、小・中学生の地域への関心の高まりがうかがえる。

② 宮城野区子ども参画プロジェクト

＜宮城野区中央市民センター＞

2つの地区館と共催で、子どもたち目線でそれぞれの地域を盛り上げた。子どもたちが地域の市民センター等に自分たちの活動拠点を設け、イベント企画や情報収集・発信の活動によって地域とつながり、社会に参画していくきっかけづくりとなった。

宮城野区中央市民センター（地区館）では、原町小・宮城野小・東宮城野小児童を対象とした、「キッズもりあげ隊」を実施。「交流」と「仲間集め」をテーマに、「ちいきスタンプリーdeビンゴ」や「キッズ学園 学園長からの挑戦状！」などの企画・運営を行い、子どもから大人までみんなで楽しく交流できる場づくりを行った。

鶴ヶ谷市民センターでは、中学校の部活動顧問やスーパーバイザーと連携し、鶴ヶ谷中学校美術部の生徒が主体となり、「つるっこ画樹園～実れ！鶴心（ツルココ）～」を実施し

た。地域の魅力的なスポットを透明水彩画で表現し、「杜の美術セカンド展」を中学生たちが企画・運営した。

③ 子どもボランティア事業 チャイルドボランティア「チャボ！」

＜若林区中央市民センター＞

子どもたちに地域でのボランティア活動の機会を作ったり、子ども自身が「地域のためにできること」を企画・実施する活動をしたりすることで、自分の存在の大切さを実感するとともに、将来、社会・地域にその一員として積極的に関わることができるようにしていく事業。対象は当センター近隣の小学4年生～中学生。地域の団体や施設などの協力を得て、一年を通して月1、2回活動しており、令和2年度は、感染防止ポスター制作、地域清掃、沿岸地域での育樹会や深沼ビーチクリーンへの参加、高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書き、地域を元気にするチャボ！ダンスソング制作などの活動を行った。

④ たいはくキッズリーダー育成事業

＜太白区中央市民センター＞

「エフエムたいはくキッズ情報局」は、西多賀市民センターとの共催により、近隣小学校3校から参加児童を募集し、地域の魅力を取材し、まとめ、エフエムたいはくのラジオで発信するという事業内容で、全5回活動した。エフエムたいはくのキッズアナウンサーとして、また、地域のキッズリーダーとして、市民センターを拠点に活動することにより、地域のさまざまな方と交流することができた。また、番組制作を通して、自分たちの地域を学習したり、地域の良さを再発見したりすることができ、自分たちの地域の良さをもっと調べて発信したいという意欲につながった。

「見つける！伝える！ヒロセ川！」は、長町地区の広瀬川近隣の小学校2校から参加児童を募集し、広瀬川をテーマとした体験活動を通した学びをエフエムたいはくから発信する事業で、全4回活動した。広瀬川の生物を採集して観察したり、広瀬川でカヌー体験したりすることを通して広瀬川の魅力等を再発見し、学んだことをFM放送で発信した。事業を通した地域の交流は、将来の地域を支える担い手を育む一助となった。

⑤ 子どもまちづくり企画室

＜泉区中央市民センター＞

南光台市民センター「南光台をもっと元気に委員会2」と連携し、区拠点館として事業の実施・運営に関する助言、事業成果の情報発信等を行い、地域を舞台とした子ども参画型社会創造支援事業を推進した。

南光台市民センターでは、平成30年度以来継続して子ども参画型社会創造支援事業の趣旨を踏まえた事業を行ってきた。3年目となる令和2年度は、新たなメンバーを増やしながら「南光台をさらに活性化したい」という子どもたちの思いを実現すべく、南光台の旧跡や人物、文化など様々な地域資源を題材にした「南光台かるた」を作成し、それを使った「巨大かるた大会」の企画・運営を行った。

本事業では、かるた大会に参加した地域住民の世代間交流が図られたほか、企画員とし

また、南光台市民センター周辺の小・中学校の校長をはじめとする教職員、嘱託社会教育主事からは、子どもたちへの声かけや励まし、かるた大会当日の参加など、本事業への理解や協力が得られ、学校と地域の連携促進につながった。

＜生涯学習支援センター＞

(ア) 方向性を確認する会①

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際し、実施計画をもとに情報交換を行い、今年度の事業展開について見通しを持つことを目的として実施した。

(R2. 7. 16(木)14:30～17:15 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者等 18 名)

(ウ) リーフレットの発行

地区市民センター及び仙台市内の小中学校に向けて、子ども参画型社会創造支援事業の啓発のため、令和3年3月に発行した。事業に参加している子どもの声を取り上げるなど、学校教職員など子どもと関わる方々の理解が得られるような内容として1,500部作成し、地区市民センター職員と市内小中学校、高等学校、中等教育学校、さらに本年度から各小中学校のPTAにも配付した。



(4) 仙台市市民センター事業展「市民センターを楽しむ学びのカタチ」

＜生涯学習支援センター＞

市民センターにおける主体的な生涯学習活動に対する市民の関心を高めるため、せんだいメディアテークを会場に、市民参画型事業を中心として、各市民センターの特色ある取組をパネルや映像で紹介した。

前年度までは、若者社会参画型学習推進事業、住民参画・問題解決型学習推進事業、子ども参画型社会創造支援事業の事業参加者や担当職員が一堂に会し、各事業の取組みの様子などを発表する成果報告会を実施してきたが、本年度は新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、大人数が同じ時間に集まることのないよう、展示を自由に観覧してもらう形で事業成果を紹介した。

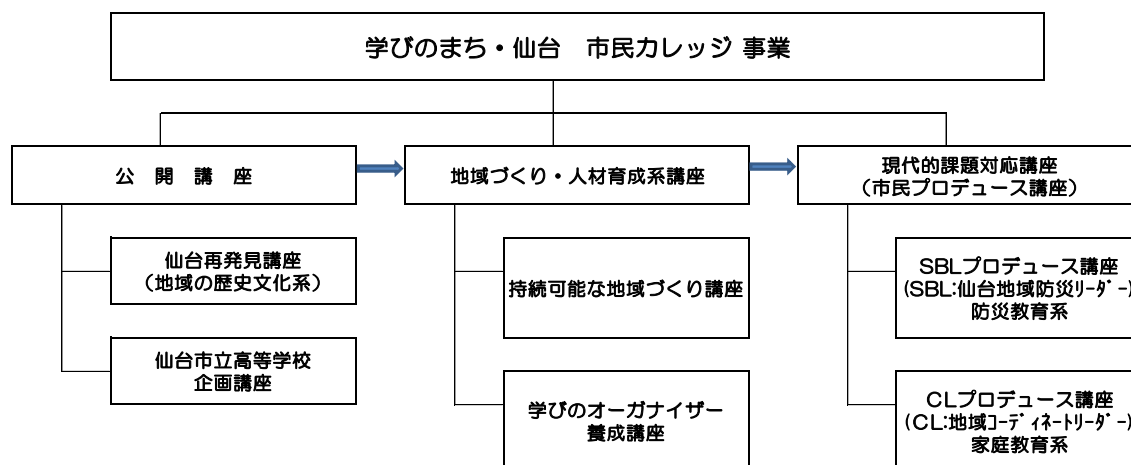
(R3.1.16(土)～17(日))

参加者：市民 145 名 市民センター職員 62 名 行政・教育関係職員 61 名)

(5) 学びのまち・仙台 市民カレッジ事業

＜生涯学習支援センター＞

本市における生涯学習の支援拠点として、全市域の市民を対象に、地域資源や地域課題、現代的課題等をテーマに、専門的で質の高い学習の機会を提供することで、地域づくりを牽引する人材の育成を目指すとともに、学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進める。



① 公開講座

(ア) 仙台再発見講座 5回連続講座

仙台の従来気付かなかった側面を改めて見出すことを共通テーマに、歴史、文化、仙台の原風景等それぞれの専門家による講座を実施した。

回	日 時	概 要	受講者
1	1. 9(土) 14:00～16:00	講話「仙台伊達家の家紋～具足や調度にみる家紋事情」 仙台市博物館 副館長 高橋あけみ 氏	39
2	1. 16(土) 14:00～16:00	講話「仙台シネマ～スクリーンに映る仙台の風景」 せんだい・宮城フィルムコミッション 渡邊由香里 氏	41
3	1. 23(土) 14:00～16:00	講話「仙台のまちの歴史～取材を通して触れる仙台のあれこれ」 有限会社荒蝦夷 「仙台学」編集長 千葉由香 氏	37
4	2. 6(土) 14:00～16:00	講話「仙台の文学～井上ひさしと仙台」 仙台文学館 副館長 赤間亜生 氏	35
5	2. 13(土) 14:00～16:00	講話「仙台と鉄道～文化資源ガクの視点から」 東北福祉大学・鉄道交流ステーション 学芸員 鈴木佳子 氏	31

(イ) 市立高等学校教員による企画講座

仙台市立高等学校の教員を派遣してもらい、市民向けの実学的な講座を開催する。「高等学校開放講座」事業と連動して行う。(p. 36「高等学校開放講座」参照)

② 地域づくり・人材育成系講座

地域づくりに関する専門性を高める学習の場を提供することで、身近な地域をより良くするため主体的に行動するとともに、中核となって地域を支える人材の育成を図る。(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。)

③ 現代的課題対応講座（市民プロデュース講座）

市民センターの講座等の受講生や市内で活動する団体等が、身近な地域をより良くするために、学びや専門性を生かして講座の企画やコーディネートを行い、他の市民とともに専門的な講話やワークショップから学ぶ。前年度に続き、仙台市地域防災リーダー（SBL）、学校支援地域本部のスーパーバイザーやコーディネーター等の地域コーディネーターリーダー（CL）の企画・運営による講座を実施した。

i) SBLプロデュース講座 「防災・減災講座」 5回連続講座

回	開催日	概 要	受講者
1	10.3(土) 14:00～16:30	講話「予防の段階から災害に向き合う ～防災啓発ドキュメンタリー映画制作を通して～」 認定NPO法人 桜ライン311 理事 小川光一 氏	20
2	10.24(土) 14:00～16:30	講話「3.11から学ぶ「災害をのりこえる」」 東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔 氏	22
3	11.7(土) 14:00～16:30	講話「救急車が到着するまで、あなたがとるべき行動は？」 東北医科薬科大学 准教授 遠藤智之 氏	27
4	11.14(土) 14:00～16:30	講話「緊急時の避難と心理学」 東北大学災害科学国際研究所 教授 邑本俊亮 氏	19
5	12.5(土) 14:00～16:30	講話「学習のまとめ「防災エンスショー」」 株式会社MCラボ 代表取締役 阿部清人 氏	20

ii) CLプロデュース講座 「子どもの『こころ』のアレやコレ」 2回連続講座

回	開催日	概 要	受講者
1	11.27(金) 10:00～12:00	講話「子どものストレスのとりえ方」 学校法人ろりぽっぷ学園 カウンセラー 八巻寛治 氏	40
2	12.4(金) 10:00～12:00	講話「ストレスを抱えた子どもとのかかわり方」 学校法人ろりぽっぷ学園 カウンセラー 八巻寛治 氏	39

2 広域規模の学習支援

(1) 高等学校開放講座

＜生涯学習支援センター＞

高等学校の持つ教育機能を生かし、市民の生活上・職業上の専門知識・技能及び一般教養の修得を図る。【昭和 51 年度開始 市立高校 5 校・5 講座，受講生 28 名，延 66 名】

学校名	講座名	内容	実施日	受講者
仙台青陵中等教育学校	オリジナルカードを作ろう！	画用紙やカードに刺繍をしたり，飾りを付けたりして，オリジナルカードを作る。	11. 12(木)～ 11. 13(金)	3
仙台商業高校	表計算入門『エクセル基礎講座』～表計算ソフトを基礎から学ぶ～	エクセル 2019 を使って，表計算ソフトの基礎や，関数の利用，いろいろな表やグラフの作成などを学ぶ。	11. 28(土)～ 11. 29(日)	18
仙台大志高校	防災カレンダー作り講習会	お気に入りの写真や記念日を付け加えたオリジナルカレンダーの裏面に，防災関連の心得や避難場所を記載して，非常時にも役立つカレンダーを作る。	12. 25(金)～ 12. 26(土)	1
仙台高校	英語の有名表現を語んじよう！	英詩，英語の歌，有名演説等をネイティブのように流ちょうに語んじること挑戦する。	12. 25(金)～ 12. 28(月)	6
仙台工業高校	「自分で描いた絵で作る！プラ板キーホルダー講座」の開設を計画したが，新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止した。			

(2) 若い青年教室

＜生涯学習支援センター＞

仙台市内に在住又は勤務している知的障害のある青年に対し，仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として，学習機会を提供する事業を行った。【昭和 45 年度開設，令和 2 年度末教室生 31 名】

主な活動内容	実施回数	延参加者
○顔合わせ会（1回）：10/18 講師と教室生の顔合わせと，映画鑑賞を行った。 ○学習会（3回）：11/25，12/13，1/24 クッキング，音楽，探検・スポーツ，創作・美術の4コースの中から希望するコースごとに分かれて2回の学習を行った。そのほかクリスマス会，節分行事を行った。 ○各回とも青葉区中央市民センターを会場に開催。 ※年度当初は年8回の開催を予定していたが，新型コロナウイルス感染症の感染拡大等のため，4回（4/12，6/14，7/19，2/14）の開催を中止した。また，1回の活動時間について，従来午前10時から昼食をはさんで午後3時頃までとしていたところ，短縮して正午終了とした。	4	71

(3) 仙台明治青年大学

＜生涯学習支援センター＞

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齡学園等を修了した 61 歳以上の高齢者が「生きがいと自己実現」を図ることを目的として、学習会などを自主運営により開催している。同期会やクラブ活動、ボランティア活動も盛んに行われている。本学は昭和 41 年に開設され、令和 3 年度に創立 55 周年を迎える。

(年度別在籍者数の推移)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
新入生数	74	78	74	68	60
在籍者総数	810	806	821	824	807

(主な活動)

活 動	活動内容	実施回数	延参加者
学習会	太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に開催。1 回あたりの平均出席者数は 257 名であった。文化芸能、健康、震災などをテーマに、外部講師を招聘し実施した。年度当初は年 20 回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等のため、8 回の開催を中止した。	12	3,609
式典	入学・開講式及び修了・閉講式を計画していたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	-	-
大学祭	クラブ活動等の発表の場として、楽楽楽ホールと生涯学習支援センターを会場に 2 日間計画していたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	-	-
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため、学内広報誌「団欒」を発刊した。 ・文芸誌「老学文苑」を発刊した。	-	-
ボランティア活動	・近隣小学校、児童館、児童養護施設等で昔遊びや囲碁・将棋、七夕飾り作り等を教えている。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請に対応した。	-	-

(4) 仙台自主夜間中学

「仙台自主夜間中学」(主催：仙台自主夜間中学(「仙台に夜間中学をつくり育てる会」から令和 3 年 5 月に名称変更))を仙台市教育委員会との共催事業と位置付け、一部会場の提供、チラシ配布による広報支援等を行った。

第 1・3 水曜日 昼間部開講 20 回(会場：仙台市市民活動サポートセンター)

第 1・3 水曜日、第 2・4 金曜日 夜間部開講 37 回(会場：生涯学習支援センター)

参加者延数 1,355 人(生徒 630 人 スタッフ 687 人 見学等 38 人)

令和 3 年 3 月末実数 生徒 53 人 スタッフ 35 人

3 人材育成

(1) 職員研修（学びを支える人材育成推進事業）

＜生涯学習支援センター＞

市民センター全 60 館ならびに 19 箇所の社会教育施設等の職員が、生涯学習事業の推進に必要な知識や考え方を深められるようにするとともに、社会の変化や市民ニーズに迅速かつ柔軟に対応しながら、積極的に市民や地域と連携を図ることができる専門性やスキルを身に付けられるようにする。

区分	受講対象	研修名と概要	受講者
基礎研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員（博物館，科学館，図書館，天文台，大倉ふるさとセンター，オーエンス泉岳自然ふれあい館，仙台ひと・まち交流財団，仙台市市民文化事業団 5 施設） ・関係課職員	◇社会教育施設等新任職員研修【全 1 回】 5/22（金）15:00～17:00 ◎講話「社会教育入門」※講師のみオンライン 仙台白百合女子大学 特任教授 高橋 満 氏 ◇社会教育施設等職員資質向上研修【全 3 回】 ＜第 1 回「学習支援者としての在り方」＞ 7/10（金）14:00～17:00 ◎講話「学習支援者としての役割」 東北大学高度教養教育・学生支援機構 准教授 佐藤智子 氏 ◎グループワーク・演習 ＜第 2 回「学びのオーガナイザーとしての在り方」＞ 10/2（金）14:00～17:00 ◎講話「学びのオーガナイザーとしての役割」 文教大学 准教授 青山鉄兵 氏 ◎グループワーク ＜第 3 回「社会教育における評価」＞ 12/13（金）14:00～17:00 ◎講話「社会教育と評価の方法」 特定非営利活動法人 教育支援協会 代表理事 吉田博彦 氏	39 29 22 21
	・市民センター職員	◇市民センター新任職員研修【全 1 回】 5/29（金）14:15～17:00 ◎講話 1 「市民センターの概要」 ◎講話 2 「学校との連携について」 ◎講話 3 「市民参画型事業について」 ◎講話 4 「ジュニアリーダー育成支援について」 ◎講話 5 「職員研修について」 以上、生涯学習支援センター職員 ◎講話 6 「新任職員への期待」※講師のみオンライン 東北学院大学 教授 水谷 修 氏	37

区分	受講対象	研修名と概要	受講者
基礎研修	・市民センター館長	◇市民センター館長研修【全1回】 8/25（火）14:00～17:00 ※講師のみオンライン ◎講話「教育における動向と政策について」 国立大学法人宮城教育大学 学長特別補佐 野澤令照 氏 ◎グループワーク	55
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇現代的課題対応研修【全2回】 ＜第1回＞ 7/31（金）14:00～17:00 ◎講話「障害者の生涯学習支援について」 文部科学省 障害者学習支援推進室 障害者学習支援第一係 係長 井口啓太郎 氏 障害者学習支援第一係 鈴木孝志 氏 ◎グループワーク ＜第2回＞ 8/21（金）14:00～17:00 ※講師のみオンライン ◎講話「超高齢社会における社会教育施設の役割～市民目線と職員目線から『高齢者』を知る～」 東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 藤原佳典 氏 ◎グループワーク	31 37
応用研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇ファシリテーション研修（基礎）【全3回】 ＜第1回～初級編～＞ 7/1（水）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「ファシリテーション入門」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏 ＜第2回～ワークショップ編～＞ 7/29（水）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「ワークショップ体験とファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏 ＜第3回～会議編～＞ 9/3（木）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「会議でのファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏	24 24 24
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇ファシリテーション研修（応用）【全2回】 ＜第1回～スキルアップ①～＞ 12/23（水）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「ファシリテーションのスキルアップ①」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏 ＜第2回～スキルアップ②～＞ 1/22（金）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「ファシリテーションのスキルアップ②」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏	8 7

区分	受講対象	研修名と概要	受講者
応用研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇講座企画研修（基礎）【全１回】 6/12（金）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「企画・立案する際のポイント」 尚綱学院大学 教授 松田道雄 氏	26
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇講座企画研修（応用）【全２回】 ＜第１回＞ 9/9（水）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「各講座（事業）の持ち寄り，講座運営のポイント」 尚綱学院大学 教授 松田道雄 氏 ＜第２回＞ 11/18（水）14:00～17:00 ※講師のみオンライン ◎講話とワークショップ「企画のプレゼンと練り合い」 尚綱学院大学 教授 松田道雄 氏	24 17
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇広報企画研修【全１回】 9/18（金）14:00～17:00 ◎講話とグループワーク 「効果的な情報発信～広報戦略のすすめ～」 仙台市市民活動サポートセンター 副センター長 松村翔子 氏	33
社会教育研修	・生涯学習支援センター，各区中央市民センター等に所属する社会教育主事等教育局職員	◇社会教育推進研修【全１回】 6/10（水）14:15～17:15 【講師のみオンライン】 ◎講話 「社会教育主事の役割～生涯学習への支援のあり方～」 尚綱学院大学 教授 松田道雄 氏 ◎グループワーク	18
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・地域連携担当教員 ・嘱託社会教育主事 ・関係課職員・関係教員	◇学校との連携・協働研修【全１回】 10/23（金）14:00～16:45 ◎講話 「社会教育と学校教育の連携・協働について ～『学校を核とした地域づくり』における 社会教育施設の役割～」 国立大学法人宮城教育大学 学長特別補佐 野澤令照 氏 ◎グループワーク ※対象を社会教育施設等職員に限定して開催。	41
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員 ・希望する市民	◇学びの還元（ボランティア）研修【全１回】 11/20（金）14:00～17:00 仙台市縄文の森広場 ◎施設見学「仙台市縄文の森広場の施設概要」 ◎講話 「仙台市縄文の森広場の事業概要」 「ボランティアスタッフの育成と活動の実際」 仙台市縄文の森広場職員	15

（２）学びの還元（ボランティア）研修

＜生涯学習支援センター＞

「学びのまち・仙台」を支える基盤の充実を目指し、より多くの市民や団体等が、学びの活動に参画できるよう、市民や行政といった立場の違いを越えて理念の共有を図るとともに、ネットワークの構築を進めることを目的として実施した。

※職員研修・発展研修としても位置付ける。

受講対象	概 要	受講者
・市民センター職員 ・社会教育施設職員 ・関係課職員 ・希望する市民(生涯学習ボランティア等)	11/20（金）14:00～17:00 仙台市縄文の森広場 ◎施設見学「仙台市縄文の森広場の施設概要」 ◎講話「仙台市縄文の森広場の事業概要」 「ボランティアスタッフの育成と活動の実際」 仙台市縄文の森広場職員	15

(3) 地域コーディネーターリーダー研修

＜生涯学習支援センター＞

子どもを育む地域力を高める視点に立ち、地域内のコミュニケーションやネットワークの活性化を目指し、地域で核となる人材を育成する事業。実際に地域で活躍している市民（企画員）との協働により研修内容を企画・実施した。

受講対象	概 要	受講者
・学校支援地域本部事業，放課後子ども教室事業，図書室等開故事業，社会学級，学コミ事業の関係者 ・PTA関係者，学校教員，児童館職員 ・市民センター職員 ・その他	◇第1回「地域コーディネーター研修会」 10/30（水）に計画していたが，新型コロナウイルスの流行を踏まえ，研修会は中止とした。参加対象者の情報共有のため，コロナ禍における子ども・学校・地域の様子や活動の工夫についてアンケートを行い，「おらほのコロナチエ」と題した冊子にまとめ，配布した。 ◇第2回「地域コーディネーター研修会」 2/20（土）13:30～15:00 ◎情報交換会 ◎励ましのメッセージ 研修アドバイザー 国立大学法人宮城教育大学 学長特別補佐 野澤令照 氏 ※地域コーディネーター研修会企画委員会 研修会の方向性や内容の検討（全4回 延参加者45名） 5/19(火)15:30～17:00，10/30(金)15:00～17:00， 12/1(火)15:00～17:00，3/9(火)10:00～12:00	- 72

(4) ボランティア養成等人材育成事業

① 託児ボランティア養成・活動支援

＜生涯学習支援センター・各区中央市民センター＞

子育て中の保護者が安心して学習できるよう、市民センターでは託児付きの講座を設けている（令和2年度実績：5事業）。

託児は、ボランティアグループによる主体的な運営を基本としており、そのため、託児ボランティアグループの活動を支援するとともに、新たな託児ボランティアの養成のための研修会を実施している。

事業名	開催日	内 容	延受講者
託児ボランティア連絡会	6月30日 10月13日 3月2日	市民センターで活動する託児ボランティアグループの代表者等と意見交換を行うため、連絡会を開催した。	33
託児ボランティア養成講座	8月26日 9月2日 9月9日 9月16日 9月30日 全回水曜日 10:00～ 11:30	託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学ぶ講座（全5回）を実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため、託児は行わなかった。 ①オリエンテーション「託児ボランティア活動について」 ②講話「子どもを取り巻く環境①遊びと発達」 仙台市支倉保育所 地域子育て支援センター 主任保育士 高橋伸子 氏 ③移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」 仙台市向山保育所見学 ④講話「子どもの病気と怪我」 仙台市宮城野区家庭健康課母子保健係 保健師 菅野友紀 氏 ⑤話し合い、実技「これからの活動に向けて」	47
託児ボランティアフォローアップ研修	10月13日 (火) 10:00～ 12:00	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 講話「よみきかせを楽しみましょう」 あつふる保育園園長 杉山秀子 氏	30

【託児ボランティアグループ一覧】（令和3年3月現在）

グループ名	設立年月	主な活動区域（区域以外での活動も有り）	会員数
にんじん	S59. 7	宮城野区、青葉区	8
たんぽぽ	H 3	太白区	12
アリスの会	H 5. 7	若林区、青葉区、宮城野区	4
てっぺの会	H 6. 4	青葉区・泉区	7
クリップ	H 9. 4	市内全般	6
ひまわり	H 9. 8	泉区、青葉区、宮城野区を主として市内全般	7
でんでんむし	H12. 3	太白区	8
さくらんぼ	H14. 5	青葉区	6
ハイジ	H22. 4	若林区	5
合計 9 グループ / 会員数 63 名			

② 図書ボランティア活動支援

＜生涯学習支援センター＞

市民センター併設の図書室（48 館）のうち 30 館の図書室では、市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

【図書ボランティア一覧】（令和 3 年 3 月現在）

グループ名	活動館	会員数
さくらさくら	北山市民センター	12
カンナの会	福沢市民センター	11
ぽけっと	三本松市民センター	6
片平市民センター・児童館図書ボランティア	片平市民センター	5
（グループ名なし）	水の森市民センター	13
ひまわり	貝ヶ森市民センター	8
（グループ名なし）	中山市民センター	4
図書ボランティアコスモス文庫	大沢市民センター	13
葉の会	落合市民センター	11
たんぽぽ	吉成市民センター	10
木町通図書ボランティア	木町通市民センター	7
かすみそう	高砂市民センター	4
しおりの会	岩切市民センター	11
もくれんの会	鶴ヶ谷市民センター	14
ターンぽっぱ	東部市民センター	5
（グループ名なし）	田子市民センター	6
（グループ名なし）	七郷市民センター	8
わかば	荒町市民センター	7
（グループ名なし）	沖野市民センター	8
（グループ名なし）	生出市民センター	5
ブックスフレンド中田	中田市民センター	7
（グループ名なし）	西多賀市民センター	3
（グループ名なし）	八木山市民センター	30
図書ボランティア縄文	山田市民センター	8
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	9
（グループ名なし）	東中田市民センター	7
ブックポケット	柳生市民センター	12
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	14
（グループ名なし）	松森市民センター	8
図書ボランティア「虹」	南中山市民センター	9
ボランティア数計 275 名		

(5) 実習受入

○社会教育実習生

東北学院大学、宮城教育大学からの依頼を受け、各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として生涯学習支援センター及び各区中央市民センターで受け入れ、公民館（市民センター）の概要や講座の企画立案・実践について指導した。

- a. 施設実習 R2.9.1（火）～R2.9.6（日）
- b. 講座実習 R2.11 上旬～12 上旬
- c. 実習報告 R3.2.4（木）

実習生 東北学院大学 10 名(a. b. c.), 宮城教育大学 9 名(a. のみ)

○大学生施設見学（生涯学習支援センター）

大学の授業の一環として施設見学を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

聖和学園短期大学……約 30 名

○インターンシップ（青葉区中央市民センター）

大学生が市民センター事業や来館者との交流等を通じて、社会人としての実践的なスキルを身につけるとともに就職活動の参考となるよう、実習生を受け入れ指導した。

東北文化学園大学……4 名

○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供している。

≪生涯学習支援センターの受入実績 小学校（1 校 36 名）≫

【中学校職場体験】

仙台市立東仙台中学校……新型コロナウイルス感染症の影響により中止

仙台市立八木山中学校……新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【仙台市立榴岡小学校】

第 2 学年生活科「まちたんけん」…………… 36 名

※各区中央市民センター（拠点館）においても、同様に児童・生徒の職場体験実習を受け入れている。

4 ジュニアリーダー

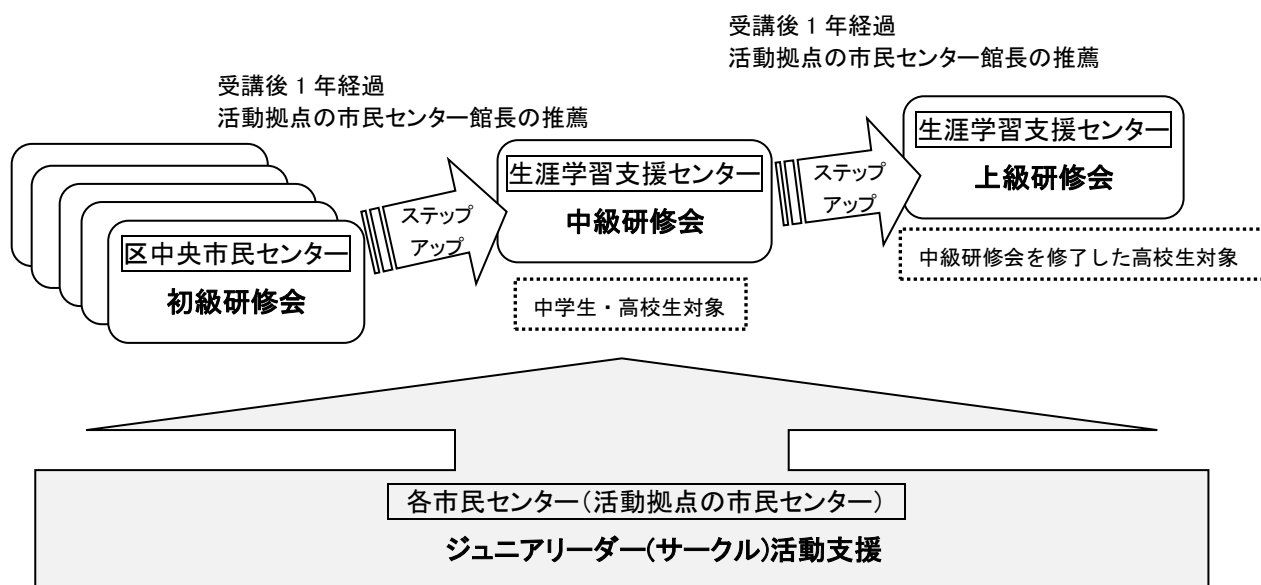
ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、地域の市民センターを拠点とするサークルに所属し活動する中学生・高校生のことであり、地域の子ども会活動のお手伝いや様々なボランティア活動に積極的に取り組んでおり、自身の人格形成にも生かされている。

ジュニアリーダー育成支援は、社会教育における“青少年の健全育成”，また，“学びを通じた人づくり”の一環として位置づけられる重要な事業である。仙台市生涯学習支援センターおよび各区中央市民センターでは、ジュニアリーダーを育成するために、下図の通り段階的に研修会を開き、ジュニアリーダー活動に必要な知識や技能を習得する場を提供している。また、活動拠点となる地区市民センターでは、ジュニアリーダーが幅広い視野や責任を持って地域での活動を行えるよう支援を行っている。

【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

- 自主企画(ジュニアと遊ぼう、交流会など)、定例研修会及び連絡会、各種研修会の実施
- 子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動
 - ・子ども会行事の実施及び企画の補助
 - ・区民まつりへの参加
 - ・市民センター事業への補助
 - ・児童館行事のスタッフ 等



○ジュニアリーダー初級研修会

＜区中央市民センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会支部）

ジュニアリーダー活動の理念に触れ、興味・関心を高めるとともに、現ジュニアリーダーとの親睦を図り、今後の活動への意欲を持たせることを中心にした内容の研修を各区で実施した。対象者は、「新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生」とした。

研修内容：「ジュニアリーダーの活動について」、「子ども会について」、
「安全に活動するために」等

【令和２年度実績】

主催館名	開催日	受講者
青葉区中央市民センター	１１月２９日（日）	５８
宮城野区中央市民センター	１１月２１日（土）	１４
若林区中央市民センター	１２月１３日（日）	１７
太白区中央市民センター	１１月２８日（土）	２２
泉区中央市民センター	１１月２１日（土）	３０

○ジュニアリーダー中級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

活動の中心となるジュニアリーダーとして、より専門的な知識と高度な技術の習得を中心とした内容の研修を実施した。対象者は、「初級研修会を受講し、ジュニアリーダーとして活動を行っている中高校生」で、かつ、「子ども対象の活動に５回以上参加し、活動拠点となる市民センターの館長の推薦を受けた者」とした。

○31名受講 12月6日（日） 会場：仙台市生涯学習支援センター

研修内容：「今、ジュニアリーダーに必要なものとは？」,

「リーダーとして要請の場で必要な力」,「子どもを引き付けるコツとは？」,

「要請のプログラムを作成しよう」,「要請のプログラムを実践しよう」等

※新型コロナウイルス感染症の影響により１日開催とした。

○ジュニアリーダー上級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

青少年のボランティア活動と地域の子どもの会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場にある高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行った。

対象者は、「中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動している高校生または高校生の年齢に相当する者」,かつ,「活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は、ジュニアリーダー活動のスキルアップを中心とした内容で実施した。

○19名受講 9月13日（日） 会場：仙台市生涯学習支援センター

研修内容：「上級JLとしての役割と心構え」,「有効なPRのために」,「心の開き方」,

「子ども対応スキルアップ」,「コミュニケーションスキルアップ」等

※例年はオーエンス泉岳自然ふれあい館を会場に１泊２日で実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、会場を変更して１日開催とした。

○ジュニアリーダー実践研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

上級研修会を受講したジュニアリーダーが講師となり、ジュニアリーダーとしてのスキルを伝達する研修会を実施した。併せて、５区のジュニアリーダーが交流を深め、幅広い

視野や責任感を持って地域で活動できるリーダーとしての資質向上・技術向上も図る。対象者は、「仙台市ジュニアリーダー全登録者」である。

※令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施しなかった。

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】（令和３年３月現在）

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区（108名） 連絡会『星のすなごけい』 （青葉区中央市民センター）	1	MRVC くまっこ	43	広瀬市民センター
	2	かめ吉	10	福沢市民センター
	3	朝実巣あかよばく	7	北山市民センター
	4	Colors	4	旭ヶ丘市民センター
	5	SKY	25	中山市民センター
	6	みずの森ーダー' S	7	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	12	青葉区中央市民センター
宮城野区（47名） 連絡会『Lovers』 （宮城野区中央市民センター）	1	高砂フレンズクラブ	5	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	8	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷 Yourself	4	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	8	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	22	宮城野区中央市民センター
若林区（53名） 連絡会『田んぼっ区』 （若林区中央市民センター）	1	郷郷七郷	10	七郷市民センター
	2	六郷村	1	六郷市民センター
	3	ピ野沖ヲ	2	沖野市民センター
	4	JARO	23	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	8	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	9	若林市民センター
太白区（61名） 連絡会『ANON』 （太白区中央市民センター）	1	なかだかな	8	中田市民センター
	2	おいでもん	7	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがつつまん	19	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	23	太白区中央市民センター
	6	moni-s	4	茂庭台市民センター
泉区（119名） 連絡会『ざわざわ森』 （泉区中央市民センター）	1	七北田 J L サークルアリス	20	泉区中央市民センター
	2	黒松ファミリー	2	黒松市民センター
	3	南光台アドバルーン	19	南光台市民センター
	4	もみの木カリヨン	1	根白石市民センター
	5	向陽台ぱびふぺパレット	0	松陵市民センター
	6	将監くれよん	16	桂市民センター
	7	南中山菓子っぶ	14	南中山市民センター
	8	高森流星サークル	15	高森市民センター
	9	寺岡流星サークル	2	寺岡市民センター
	10	みちのく松陵	8	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	8	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	2	松森市民センター
	13	根住 s	5	根白石市民センター
	14	AMY Y	7	長命ヶ丘市民センター
市全体（388名／38サークル） 仙台市連絡会『ずんだ』（生涯学習支援センター）				

5 地域社会教育推進

(1) 学びのコミュニティづくり推進事業

＜生涯学習支援センター＞

子どもの健やかな育ちを支援するため、地域の様々な団体が連携し、地域の児童、保護者、住民などを対象とし、子どもと大人の交流や自然体験などを地域団体への委託等により実施する。

平成13年度に事業を開始。令和2年度は、事業委託した2団体と3年の委託期間が終了した後も自主的に活動を継続している等の31団体と合わせて計33団体が活動した。

区 分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
委託団体数（うち新規委託団体数）	8(2)	7(1)	5(3)	5(1)	2(0)
委託期間終了後の活動継続団体数	25	27	28	29	30
合計	33	34	33	34	32

《令和2年度の委託団体》2団体

団体名	区	学校区	ねらい・概要	委託状況
プロジェクト北三	青葉	木町通小	北三番丁公園をフィールドに地域貢献活動を行っていた「こよなく北三番丁公園を愛する会」が中心となり、「木町通小学校おやじの会」「木町通小学校」「木町通市民センター・児童館」と連携して児童の健全育成に向けた事業（木町通小学校に泊まろう・段ボール窯でピザを焼こうなど）を展開している。	2年目
東仙台小学校学区学コミ推進委員会	宮城野	東仙台小	東仙台小学校区内の子どもたちを核として、同地域内の各種団体が連携して諸活動を行っていくことにより、子どもたちの豊かな体験と健やかな育ち並びに地域のネットワークづくりを目指す。子どものあそび大会、学校でデイキャンプをしよう、などの事業を実施。	3年目

《委託終了後も自主的に活動を行っている団体、委託を休止中の団体》 31団体

No.	団体名	区	学校区	委託終了年度
1	まちがっこ推進委員会	青葉区	東二番丁小	平成15
2	榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	東華中 宮城野中	〃
3	ながまち学びネット推進委員会	太白区	長町中	〃
4	ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	泉区	七北田中	平成16
5	松陵っ子、土っと来い！	泉区	泉松陵小	〃
6	かみすぎねっと	青葉区	上杉山通小	平成18
7	パパネット南小泉推進委員会	若林区	南小泉小	平成19
8	まなこみネット鶴が森Ⅱ	泉区	鶴が丘中	平成21
9	将監こども楽校推進委員会	泉区	将監小	平成22
10	旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ推進委員会	青葉区	旭ヶ丘小	平成23
11	上愛子学びのコミュニティづくり推進委員会	青葉区	上愛子小	〃
12	「西山っ子ニコニコ楽校」	宮城野区	西山小	〃
13	通学合宿連坊実行委員会	若林区	連坊小路小	〃

14	まなびネット「いずみ中山」	泉区	南中山中	〃
15	五城学区地域連携教育推進委員会	青葉区	五城中	平成 24
16	福室学びのコミュニティづくり推進委員会	宮城野区	福室小	〃
17	「がんばれ秋保っ子」推進委員会	太白区	秋保中	〃
18	カモンレインボープラン推進委員会	泉区	加茂中	〃
19	おいで里ネット	太白区	生出中	平成 25
20	川平学びのミュージアム	青葉区	川平小	平成 26
21	袋原中学校学区学びのコミュニティ推進委員会	太白区	袋原中	平成 27
22	ロングライフヒルコミュニティ協議会	泉区	長命ヶ丘中	〃
23	山ガキ隊わくわく学校推進委員会	太白区	山田中	平成 28
24	森の応援団 愛子ハグリッズ	青葉区	愛子小 錦丘小	平成 29
25	楽コミ金剛沢おやじっ子推進委員会	太白区	金剛沢小	〃
26	坪沼スポーツ振興会	太白区	生出小学校 区の一部	〃
27	未来っこ桂	泉区	桂小	〃
28	田子っこ学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	田子小	平成 30
29	八木山おやじの会	太白区	八木山小	令和元
30	幸町おやじの会	宮城野区	幸町小	※
31	大和学びのコミュニティ推進委員会	若林区	大和小	※

※幸町おやじの会と大和学びのコミュニティ推進委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度は委託を休止した。

(2) 学びのコミュニティづくり推進事業支援等

「学びのコミュニティづくり推進事業」の委託団体及び、３年間の委託期間終了後も自主的に事業を実施している団体に対して、活動支援を行った。

○実施団体連絡会

＜生涯学習支援センター＞

委託期間が終了した後も自立した活動を行っている 28 団体を含め、事業実施団体連絡会による研修会を開催し、団体相互の情報共有を図った。

開催日時	内 容	受講者
2.27(土) 13:30～15:30	事例発表「コロナ禍での取組と今後の展望」 東仙台小学校学区学コミ推進委員会 委員長 堀江孝浩 氏 旭ヶ丘わんぱく森がっこ推進委員会 委員長 岡崎千佳子 氏 話題提供「子どもの学びを育む市民センター事業 ～地域全体で子どもの育ちを支える環境づくりの視点から～」 教育局生涯学習支援センター 主査兼社会教育主事 佐伯修一 情報交換	14

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
かみすぎねっと (No.6)	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・５月 25 日 第 1 回幹事会→中止 ・７月 29 日 第 2 回幹事会 (10 月 11 日 チャレンジランキング秋の陣) (10 月 31 日 ハロイモ)		27

		・2月17日 第3回幹事会 ほか	1	18
	旭ヶ丘わんぱく 森 ² がっこ (No.10)	旭丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・6月23日 推進委員会 (7月～11月 ファーム事業) (8月17・18日 ラジオ体操&ランランタイム) (8月16日～18日 おこと・三味線 体験教室) ほか	1	14
宮城野区中央市民センター				
	榴岡かいわい学び のコミュニティづ くり推進事業 (No.2)	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供した。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流を図る。※令和2年度は中止 ・8月29日 第20回つつじがおかワイワイ夏まつり ・1月16日 第14回つつじがおかワイワイ冬まつり	0 0	0 0
	「西山っ子ニコニコ 楽校」 (No.12)	西山小学校区の学校関係団体・地域団体との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・11月28日 夜の学校探検 ・2月20日 みんなで楽しくいい気モチ イン 西山	1 1	47 34
若林区中央市民センター				
	区内小学校合宿 等支援	学びのコミュニティづくり推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援する。※令和2年度は中止	0	0
	若林小あそび場 支援	若林小学校を中心に放課後の児童に遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動（概ね月1回開催）を、関係団体、若林児童館、若林市民センター、ボランティアとともに支援する。※令和2年度は中止	0	0

太白区中央市民センター				
ながまち学び ネット (No.3)	長町中学校区の児童・生徒や保護者、地域住民とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行うことを通して、地域のコミュニティ形成と連携した地域づくりを目指す。※令和2年度は中止	0	0	
がんばれ秋保 っ子 (No.17)	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで、地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくることを目的とし、事業開催に向けて話し合いを行う。※令和2年度は中止	0	0	
おいで里ネッ ト (No.19)	おいで里ネット推進委員会の意向で、中学生の有志による企画員会議を開催した。中学生の企画員会議の中から出された企画案を実現させる形でイベントを計画する。※令和2年度は中止	0	0	
泉区中央市民センター				
区内学コミ連 絡会	区内で活動している各学コミ団体と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図っている。令和2年度はコロナ禍につき対面での集まりを中止。各団体代表者に電話やメールで近況を確認し、情報共有を行った。	適宜		
ふれあい学び ネットい・ず・ み推進委員会 (No.4)	七北田中学校区内の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図るとともに、子どもの居場所づくり事業について協議、企画、実施している。 ・11月11日 役員会 ・11月27日 推進委員会 コロナ禍の状況を踏まえ、事業の中止を決定	1 1	6 16	

(3) 地域情報発信サポーター養成・活動支援

＜生涯学習支援センター＞

○地域情報発信サポーター養成講座

地域情報発信サポーターを養成するために、「まちの魅力を再発見」と題した連続3回の講座を行った。

回	日 時	内 容	受講者
1	9.26(土) 10:00～12:00	講話「お宝は足元にあるー地域を見る目をじぶんの中に育てる」 講師：青空編集室主宰 西大立目祥子氏	21
2	10.3(土) 10:00～12:00	まち歩き 地下鉄南北線「五橋駅」～地下鉄東西線「連坊駅」 講師：青空編集室主宰 西大立目祥子氏	20
3	10.31(土) 10:00～12:00	受講者が撮影してきたまちの写真の発表，グループワーク 講話「地域を知る，発信方法を考える」 講師：青空編集室主宰 西大立目祥子氏	17

○地域情報発信サポーター活動支援

平成28年度地域情報発信サポーター養成講座の修了者が自主サークル「仙台おもしろ発見隊」を結成。また、令和2年度養成講座の修了者のうち8名もサポーター登録したが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動は行われなかった。

6 学習情報提供

(1) 学習情報レファレンスシステム・市民センターホームページの運営等 ＜生涯学習支援センター＞

学習情報レファレンスシステムは、市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、生涯学習支援センターと市民センターとをネットワークで結び、生涯学習に関するより新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として平成12年3月より運営している。

平成26年11月にシステムを更新し、新たな「市民センターホームページ」と「学習情報データベース」の運用を開始した。新たなホームページでは、各市民センターの情報を統合して表示するほか、講座の開催日を検索しやすくするなどの手法により、市民により分かりやすいページ構成とした。また、スマートフォン・タブレット等でも閲覧可能となっている。

令和元年度には、システムの機器更新を行うとともに、動画が公開できるようYouTube上に仙台市市民センターチャンネルを開設し、市民センターホームページに設けたリンクからアクセスできるようにした。令和3年3月末現在、63本の動画を公開している。

【令和2年度 市民センターホームページアクセス件数】

アクセス件数	732,494	一日あたりの閲覧数	2,007
閲覧者数	550,366	一日あたりの訪問者数	1,508

【市民センターホームページURL <https://www.sendai-shimincenter.jp/>】



(2) 市民センター事業ガイド

＜各区中央市民センター・生涯学習支援センター＞

講座等参加者の募集中，募集予定がある事業について，区ごとにまとめ，毎月 1 回発行して，市民への情報提供を行った。市民センターホームページでも公開している。

(3) 「学都仙台サテライトキャンパス」支援等

＜生涯学習支援センター＞

大学等の高等教育機関の連携組織である「学都仙台コンソーシアム」（平成 18 年設立）のうち「サテライトキャンパス部会」で実施する公開講座「学都仙台サテライトキャンパス」や部会構成校が独自に実施する市民向け公開講座について，市民が円滑に講座を受講できるよう，広報及び情報提供等の支援を行った。

7 各区中央市民センター事業

(1) 嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して、子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り、地域で子どもを育てる環境づくりを推進した。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央市民センター	6月24日 青葉区社会教育推進連絡会研修会【中止】 9月6日 「青葉チャレンジキッズ in 科学館」【中止】 10月25日 「青葉チャレンジキッズ in 博物館」 11月29日 ジュニアリーダー初級研修会 12月12日 インリーダー研修会事前打合せ 1～2月 インリーダー研修会 11会場【紙面開催】	14	554
宮城野区中央市民センター	5月～6月 宮城野区社会教育推進連絡会・事業検討会（4回） 6月24日 宮城野区社会教育推進連絡会研修会【中止】 10月31日 「貞山堀でハゼゲットだぜ！」 11月21日 宮城野区ジュニアリーダー初級研修会 12月14日 インリーダー研修会事前打合せ会 2月 インリーダー研修会 9会場【延期】	7	約 200
若林区中央市民センター	8月 若林区地域学校連携推進会議【中止】 11月23日 ものづくり体験教室【中止】 12月13日 ジュニアリーダー初級研修会 2月 インリーダー研修会【資料配付による自主研修】	1	35
太白区中央市民センター	6月26日 第1回地域連携ネットワーク会議【中止】 6月～1月 太白区内地域連携ネットワーク事業 9地区 10事業を実施 11月28日 ジュニアリーダー初級研修会 12月5日 インリーダー研修会事前打合せ会【中止】 1月～2月 インリーダー研修会 【DVD配付による自主研修】 1月26日 第2回地域連携ネットワーク会議【中止】	8	約 2,100
泉区中央市民センター	9月～2月 泉区の社会教育を考える会（4回 他役員会1回） 11月21日 泉区ジュニアリーダー初級研修会 7月～2月 インリーダー研修会 （研修会5回中2回で講師担当、 研修会を中止した子ども会育成会への資料提供）	8	166

(2) インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、次年度への延期、テキスト配付、研修内容を記録したDVDの配付などに代えて実施した。

【令和2年度実績】

区	開催状況
青葉区	紙面開催（372名にテキスト配付，児童165名に修了証授与）
宮城野区	次年度の夏に延期
若林区	自主研修（テキスト配付）
太白区	自主研修（460組にテキストと自作オリジナルDVD配付）
泉区	5回開催，183名参加

(3) 生涯学習研究事業

◎事業例 泉区の社会教育を考える会

＜泉区中央市民センター＞（事業検討4回，役員会1回実施 延参加者：39名）

区内の社会教育について，嘱託社会教育主事研究協議会泉区部会と協働で，既存の事業の見直しや，新たな事業の企画を行った。また，それら事業を実施検証し，泉区の社会教育事業の新たな展開の可能性を探り，活性化につなげた。

(4) その他の主な事業

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区 中央市民 センター	子どものための 日本語講座	日本語を母語としない小学生，中学生に日本語を学習する機会を提供し，充実した学校生活を送れるように支援している。	30	302
	せんだい日本語 講座	在仙の外国人等に，日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに，日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで，国際交流や多文化理解を促進している。	512	3,759
若林区 中央市民 センター	まなびごっこ	若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして，当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室（女性のための囲碁教室，映画上映会など9種類）を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，10月から翌年3月までの開催となった。	47	512
太白区 中央市民 センター	長町・あすと長町 地域活性化事業	地域振興団体が主催するイベント「長町秋のフェスティバル」の企画運営等の支援を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが，関係団体間の交流や協議の場づくり等の支援を行った。	4	47

8 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は14人で、任期は令和元年11月1日から令和3年10月31日までの2年間となっている。

【委員名簿】 [令和3年7月1日現在]

氏 名	職業または所属団体
○ 相 澤 雅 子	仙台市立南小泉中学校学校支援地域本部 スーパーバイザー
安 藤 歩 美	TOHOKU 360 代表・編集長
市 瀬 智 紀	宮城教育大学教員キャリア研究機構 教授
大 内 幸 子	せんだい女性防災リーダーネットワーク 代表
幾 世 橋 広 子	仙台市社会学級研究会 顧問
後 藤 武 俊	東北大学大学院教育学研究科 准教授
佐 々 木 稔	公募委員
佐 藤 正 実	有限会社イーピー風の時編集部 代表取締役
柴 田 真 理 子	仙台市立東長町小学校 校長
高 橋 卓 誠	仙台市議会 議員
福 士 定 男	仙台市連合町内会長会 庶務理事
牧 靖 子	マイスクール川平 コーディネーター
◎ 松 田 道 雄	尚絅学院大学 教授
八 十 川 淳	東北文化学園大学科学技術学部 教授

◎：会長 ○：副会長 敬称略・50音順

【近年の審議内容(平成15年度～令和2年度)】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成15年 10月7日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 審議会における検討の過程 2 子どもの事業に取り組む課題と視点 3 ジュニアリーダーの育成と活動支援 4 学社連携・融合事業について 5 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民参加と市民協働の課題 2 市民センター運営における市民参加について 3 市民企画委員によるプログラムづくりについて 4 市民参加を広げる事業活動をめざして
平成19年 10月30日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて <これまでの審議内容(各委員の意見)の概要> 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査からみえてきたもの <市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは> (梨本雄太郎委員) <区行政との「融合」をめぐる> (石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案ー仙台プランー	<市民センターを拠点とした新しいまちづくり> 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する <新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩/今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案> 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを生かした地域づくりの推進」に関する意見	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1 これまでの経緯 2 評価の現状と基本的な考え方 3 本審議会が実施する外部評価 4 本審議会以外が実施する外部評価 5 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見について	1 「仙台市市民センターの施設理念」について 2 「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4 東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5 その他
平成 26 年 7 月 31 日	報告	平成 25 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 8 月 25 日	報告	平成 26 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 10 月 17 日	意見	震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について	1 震災後の取り組みの成果と課題 2 今後の市民センター事業に関する委員の意見
平成 29 年 3 月 23 日	報告	仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果
平成 29 年 10 月 23 日	意見	仙台市市民センター事業評価に関する意見について	1 事業評価について 2 事業運営懇話会等について

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 30 年 11 月 8 日	報告	仙台市市民センター事業評価報告	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果
令和元年 7 月 4 日	答申	「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直し(第二次)のあり方について	<見直しのあり方に関する意見> 1 拠点館の役割の再検討及び記載の明確化について 2 「震災を踏まえた市民センターの役割と取組」の記載事項の内容・構成の再検討 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」の記載事項の内容・構成の再検討 4 全体、他の項目への意見等
令和 2 年 11 月 5 日	意見	今後の市民センター事業に関する意見について	<新型コロナウイルス感染症との共生時代の市民センター事業に関する意見> 1 オンラインと対面(リアル)のバランスについて 2 子どもの育ち・交流・実体験の場となることについて 3 記録を残すことについて 4 グループ討議を踏まえた意見など

【審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
令和元年 11 月 8 日(金)	定例会	○委嘱状交付式 ○会長、副会長選出 協議：(1)会議の公開、非公開について (2)議事録及び署名人について (3)公民館運営審議会定例会の進め方について 報告：(1)仙台市市民センターの概要について (2)市民センターホームページについて
令和 2 年 1 月 16 日(木)	定例会	協議：(1)今後の日程について (2)今期の審議テーマについて 報告：○仙台市市民センター事業の運営方針について ～市民センターの役割～
7 月 2 日(木)	定例会	協議：○公民館運営審議会の今後の進め方について 報告：○新型コロナウイルス感染症の影響について ・市民センター事業(令和 2 年度) ・子ども参画型社会創造支援事業(若林区)
8 月 27 日(木)	定例会	協議：○新型コロナウイルス感染症との共生時代の市民センター事業について
11 月 5 日(木)	定例会	協議：(1)今後の市民センター事業に関する意見について (2)今後の進め方について
11 月 22 日(日) 12 月 12 日(土)	臨時会	○事業視察 11/22 つるっこ画樹園～実れ！鶴心～ (鶴ヶ谷市民センター) 12/12 チャイルドボランティア「チャボ！」 (若林区中央市民センター)
令和 3 年 1 月 14 日(木)	定例会	報告：○今後の市民センター事業に関する意見について 協議：(1)仙台市市民センター事業に係る調査研究について (2)令和 2 年度子ども参画型社会創造支援事業について
1 月 26 日(火) 2 月 27 日(土)	臨時会	○事業視察 1/26 青陵インパクト(青葉区中央市民センター) 2/27 南光台をもっと元気に委員会 2 (南光台市民センター)

3 月 18 日（木）	定例会	協議： (1) 仙台市市民センター事業に係る調査研究について (2) 令和 2 年度子ども参画型社会創造支援事業について
3 月 20 日（土）	臨時会	○事業視察 3/20 チャイルドボランティア「チャボ！」 (若林区中央市民センター)
5 月 13 日（木）	定例会	協議： ○仙台市市民センター事業（子ども参画型社会創造支援事業）の調査研究について 報告： (1) 仙台市教育構想 2021 について (2) 令和 3 年度市民センター事業について
7 月 1 日（木）	定例会	協議： ○仙台市市民センター事業（子ども参画型社会創造支援事業）の調査研究について
8 月 26 日（木）	定例会	協議： ○仙台市市民センター事業（子ども参画型社会創造支援事業）の調査研究について

※令和 2 年 3 月 17 日（火）及び 5 月 14 日（木）に開催を予定していた定例会は，新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とした。